

LUMINE
SUSTAINABILITY
Highlights

ルミネサステナビリティハイライツ

ニューマン
高輪イベント
レポート

EVENT

モノも、想いも、次へつなぐ
多彩な体験で触れる、モノの一生

夏本番を前に、ルミネ・ニューマンでは、値引き販売のセールだけではなく、季節を楽しみ尽くす、地球にも人にもやさしいエシカルなイベント「ルミネ・ニューマン エシカーニバル」を開催しました。その一環として、ニューマン高輪では2026年7月16日から8月7日まで「巡継 (めぐりつぐ) カーニバル」を開催。ものづくりの現場を知り、愛おしさの源泉に触れ、次へとバトンをつなぐ喜びを味わう「巡り継ぐ」をコンセプトに、展示や体験、マーケットなどさまざまな企画が展開されました。

会場にはじっくりと展示に向き合う大人たちの姿や、にぎやかに体験を楽しむ子どもたちなど、それぞれの過ごし方で「巡り継ぐ」に触れる時間が広がっていました。

WE ILLUMINATE
THE
FUTURE

わたしが選ぶ毎日が
わたしたちの未来を
つくっていく



ニュウマン高輪 企画チームのメンバー

生まれた背景 「巡継カーニバル」が

ニュウマン高輪では、サステナブルを一人ひとりが自分ごとに置き換えて考えられる場を目指しました。そこで着目したのが、モノが作られる背景や作り手の想いを知ることによって生まれる「愛着」です。どのような人がどんな想いで、どのようにモノを作ったのか知ること、自然とモノを大切に使いたくなるのではないかと考えました。作り手の想いや手間、使う人の記憶まで含めて次の人へつないでいく。そんな「愛着を持って受け継いでいく」という想いから生まれたのが、「巡継カーニバル」という名前です。

今回の企画は、イベント全体を通して「モノの一生」を感じられるよう構成しています。モノが作られる背景を伝える展示、モノが人から人へ渡る体験をつくるマーケットやフリマ、捨てられるはずだった素材に新たな役割を与える体験、モノが生まれる土地を訪れるツアーなど、さまざまな切り口でモノの一生に触れられるコンテンツが集まっています。

お客さまには、イベントを通してモノとの新しい出会いを楽しんでいただきながら、今あるモノを長く使うことや、次へのバトンを渡していくことにも目を向けていただける時間になると信じています。

ここで生まれた愛着や気づき、出会った物語やブランドの魅力を家族や友人に伝えていただくこと。「巡継カーニバル」での体験そのものが長く心に残る思い出となり、誰かへと「巡り継がれて」いくことが、ニュウマン高輪が目指す未来です。

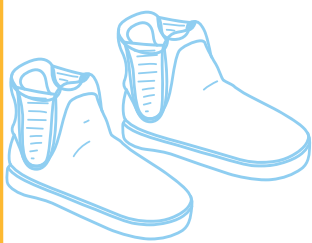
CONTENTS 1

「巡(り)継(がれる)物語展」



ニューマン高輪に出店する「JOHN SMEDLEY」「EYEVAN」「バーミキュラ」「Clarks」の4ブランドが紡いできた“巡り継がれる物語”を紹介するクラフト展です。

それぞれのブランドがどのように生まれ、どんな想いで技術や人とのつながりを受け継ぎながらモノを作ってきたのかを展示で紹介しています。ブランドによっては200年以上にわたる歴史もあり、普段はなかなか知ることのできない創始者や技術者の想い、ものづくりにかける手間やこだわり、長い時間を経ても変わらない理念などに触れることができます。「欲しい」だけでなく、「長く大切に使いたい」と思うきっかけとなるコンテンツとなりました。



当日は、足を止めてじっくりと展示を見つめ、商品だけでなく、その先にいる作り手や受け継がれてきたモノへの想いを巡らせながら、ブランドの物語をたどるお客さまの姿も見られました。





CONTENTS 2

「キッズフリマ by メルカリ」



子どもだけで売買を行うフリーマーケットを開催しました。自分で値段を決めたりセット販売にしたりと、子どもたちが工夫しながら販売する姿が見られました。目を輝かせて買い物を楽しむ子どもたち。一生懸命声をかけて商品を売る姿。活気あふれるやり取りで、会場はにぎわいを見せました。親御さんは少し心配しつつも、子どもたちが挑戦する姿をうれしそうに見守っていました。

知らない人とやり取りしながら売買を経験することは、モノの価値を考える経験にもなります。そして、使わなくなったモノを捨てるのではなく、必要とする誰かへ渡すことで、モノに新しい時間が生まれます。使っていた子どもの思い出が、新たに手にした子どもの体験や記憶へと巡り、モノだけでなく、そこにまつわる思い出まで「巡り継がれて」いく企画となりました。



CONTENTS 3

「ヴィンテージマーケット」

ヴィンテージマーケットでは、クローゼットから回収された agnès b. と A.P.C. のアイテムが集まり、次の持ち主へと受け継がれていくマーケットを展開しました。

agnès b.

長く愛されるものづくりが
着なくなった服の循環を支えます

agnès b. では、着なくなった服を回収・再販売し、その収益の一部を環境保護活動につなげる取り組みを行っています。「洋服は買って終わりではなく、着なくなった後に回収して再販売し、さらにその先で海洋保護の活動にもつながっていく。今回のイベントをきっかけに、そうした循環の取り組みも知っていただけたら」と、agnès b. スタッフは想いを語ってくれました。

こうした循環を支えているのが、流行に左右されず、長く愛されるものづくりです。年月を経たアイテムも、今の装いに取り入れられるデザインだからこそ再び誰かの手に渡り、新たな一着として活躍することができます。当日は、「これ持ってた」と懐かしそうに商品を見つめるお客さまの姿も。かつて誰かに愛された服が、時代を超えて次の人へと受け継がれていく場となりました。



A.P.C.



A.P.C.は、「流行を追いかけること」ではなく、長く愛される本質的な服を作ることを大切にしています。過度な装飾を避けて着る人の個性を引き立てるシンプルさ、5年後、10年後にも価値を感じられる時代を超えたデザイン、着るほどに良さが増す上質な素材、修理しながら長く使える品質と耐久性、さらにブランド名の由来でもある「Production」と「Creation」の両立を掲げ、ものづくりと創造性のどちらも欠かさずに服を作っています。「たくさん持つ」より「本当に良いモノを長く使う」という考えのもと、過去の在庫を廃棄せず販売する「A.P.C. SURPLUS」など、これまでのコレクションに新たな命を吹き込み、循環させる取り組みも続けています。こうした A.P.C. が大切にしてきた価値観が「巡継カーニバル」のテーマとも重なり、今回の出店につながりました。



「たくさん持つ」より
「本当に良いモノを長く使う」

CONTENTS 4

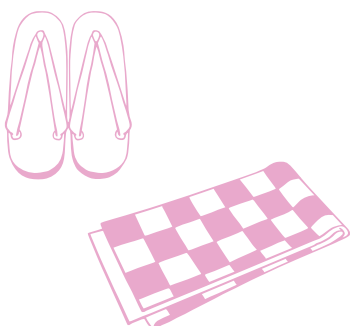
「アートウォール」

アートウォールでは、ニューマン高輪のショップから集めた残布を使い、ご来館いただいたお客さまと一緒に、今回の企画を象徴する一つのアートを作りました。残布をアートに生かすことで、不要になったモノにも新たな価値を与えられることを楽しみながら体感できる企画です。素材の提供を各ショップに呼びかけたところ、12ショップが企画の趣旨に賛同し、協力してくださいました。ショップの垣根を越えて素材が集まったことも、ニューマン高輪全体でモノの循環に向き合う姿勢の表れです。気軽にモノの循環に触れられ、初日から多くの方に参加いただいたアートウォール。来場されたお客さまの手によって、会場を鮮やかに彩るアートが完成しました。



CONTENTS 5

「巡(り)継(ぐ)、産地ツアー」



「巡(り)継(ぐ)、産地ツアー」では、ニューマン高輪を飛び出し、ブランドの産地やものづくりの現場を実際に訪ねました。奈良では中川政七商店に関連する施設や周辺地域を巡り、名古屋ではバーミキュラの工場を見学しました。普段はなかなか入ることのできない工場を訪れ、商品の製造工程だけでなく、職人の仕事ぶりや、ブランドが育ってきた土地や風土にも触れられるのがこのツアーの特徴です。展示や映像だけでは伝わりきらない、ものづくりの音や空気、その土地の街並みまで、実際に現地を訪れることでより深く体感できます。

「買う」だけではない、 モノとの関わり方を ニューマン高輪から

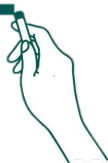
モノを「買う」だけではなく、
「巡り継ぐ」という新しい選択肢を提案した
「巡継カーニバル」。
展示や買い物、体験を通して、
モノとの向き合い方や
新しい価値観に出会える機会となりました。

ニューマン高輪はこれからも、
ブランドやモノの背景にある想いを
知ることで生まれる愛着を大切にし、
サステナブルな選択が
日々の暮らしに自然と根づく
ライフスタイルを提案していきます。



WE ILLUMINATE
**THE
FUTURE**

わたしが選ぶ毎日が
わたしたちの未来を
つくっていく



ルミネではサステナビリティ方針
「WE ILLUMINATE THE FUTURE
わたしが選ぶ毎日が、わたしたちの未来をつくっていく」
のもと、みんなと一緒に一歩ずつでも前に進んでいくために
ルミネだからできることを考え、共に歩み続けます。



●ルミネのサステナビリティ
<https://www.lumine.co.jp/sustainability/>

●ニューマン高輪
<https://www.newoman.jp/takanawa/>